

平成 21 年度 N P O 法人川学ぶ体験活動協議会 事業計画書

1. 会議

- (1) 理事会 平成 20 年度の活動報告・会計報告、平成 21 年度の活動計画・収支
予算等についての検討を行う。

[開催日時] 候補 平成 21 年 5 月 30 日(土) 14:00~15:00 / 東京都

- (2) 総 会 平成 20 年度の活動報告・会計報告の承認、平成 21 年度の活動計画
・収支予算等についての報告を行う。

[開催日時] 候補 平成 21 年 5 月 30 日(土) 15:30~17:00 / 東京都

- (3) 常任理事会 業務執行に関する検討を随時行う。
審査認定及び審査認定に関する各種細則の作成を行う。

(4) 専門部会

下記の専門部会ごとに主な事業を推進する。

人材育成部会

トレーナー制度検討及び更新講習会企画準備 / 各講座開催のサポート / R A C 指導者
養成カリキュラムの検討 / 効果測定等を行う。

広報部会

全国一斉 1 万人・川の流れ体験キャンペーン / R A C の普及啓発戦略の検討及び充実
(全国川遊び百選) / 各種広報印刷物の検討 / R A C 資機材の販売促進 を行う

総務部会

年間事業計画起案 / 全国大会対応 / 地域ブロック毎の普及活動推進・把握 / R A C 保
険の検討 を行う

(5) 委員会

安全対策委員会

川での体験活動をより安全にできるように対策を検討する。また、R A C 登録指導者や
会員団体が事故に遭遇したときの対応を行う。

審査認定委員会

川の体験活動指導者養成講座等 R A C 認定講座や支援の審査を行う。

組織強化委員会

RAC 加入団体や指導者に関するデータ分析、RAC ブロック会の推進、のデータによる運営予測、の結果や方向性に関して3部会・事務局との意見交換・調整、関係機関、団体、個人等との連携など、を行う。

2. 講習会等

(1) 川の指導者養成講習会、トレーナー更新講習会等

河川整備基金申請事業(6,400千円)

RACリーダー、インストラクター1・2種、コーディネーター養成講座

講座の支援については事前調査申請書を申請した団体で且つ開催地域の河川管理者と連携した取り組みについて優先的に行う。(20講座程度)

RACスキルアップ研修会は「RACインストラクター1種養成講座」を兼ねた開催へ発展的に集約する。

RACトレーナー更新講習

日時：平成20年5月31日(日) 9時~13時

研修費：1万円程度(食費宿泊費別)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟109号

その他、CONEトレーナーの会との併催を予定

リスクマネジメント講座、レスキュー講座等の指導者養成講座の展開

水辺のリスクマネジメント講座及びレスキュー講座の指導者を養成するための講座を展開する。

子ども水辺安全講座

子どもの水辺安全講座を開催する場合には、インストラクター1種以上の指導者が1名以上いること等を必要条件とする。

関連事業

- ・ 川の指導者養成制度の見直し(カリキュラム内容、トレーナー制度等)や事故を想定した安全対策に関する検討を行う。
- ・ 川に学ぶ体験活動についての普及啓発を図る。
- ・ **川の指導者養成講座で活用できる参考書の作成を行う。**

(2) 川のサマーキャンプの展開

地球環境基金申請事業(4,200千円)

- ・ 小学生向けの川でのサマーキャンプを6泊程度で展開する。サマーキャンプの共通カリキュラムは専門部会で検討し、RACの構成団体の協力を得て運営及び普及を

図る。

- ・ サマーキャンプの運営上のノウハウを集約、編集し、冊子として印刷する。

(3) 全国一斉1万人・川の流れ体験キャンペーン

きれいな川と暮らそう基金申請事業(600千円)

- ・ 子どもまたは親子向けにライフジャケットの着用等川での安全を学習し、活動の一つとして川をきれいにする活動を行うことで、楽しさの中で自ら川をきれいにしたいという思いを醸成する。併せて活動の動画記録をHPにて配信する。

3. 全国大会等

(1) 第9回川に学ぶ体験活動全国大会 in ひろしま

「川に学ぶ」体験活動を普及することなどを目的に、実行委員会形式による全国大会を共催する。

日時：平成21年9月5日(土)、6日(日)

会場：広島県広島市

主催：川に学ぶ体験活動全国大会 in ひろしま実行委員会

(2) RACフォーラム等の開催

子どもゆめ基金申請事業(1,371千円)

川での体験活動におけるリスクマネジメントをテーマに全国大会(RACフォーラム)を開催する。

日時：平成22年1月下旬(候補日 1月23日(土)、24日)

参加費：5,000円程度(食費宿泊費別)

会場：会場としては交通アクセスが良いところ。

(3) RAC地域ミーティング

フォーラムに先駆けて地域ブロック(7箇所 北海道、東北、関東、東海・中部、近畿・北陸、中国・四国、九州)毎に地域ミーティングを開催し、水辺の体験活動の効果や安全対策の普及のほか、地域的な課題の集約を行う。

CONE河川安全講習会等と併催を予定

4. 調査研究事業

(1) 調査検討業務

(受託目標額 20,000千円)

- ・ 「川に学ぶ体験活動」を普及するために必要な調査業務を提案する。
- ・ 川の指導者養成講座の運營業務を行う。
- ・ 河川水難事故防止に向けた講習会の運營業務を行う。

- ・その他RACの目的を達成するために必要な業務を提案する。

5．広報・普及活動

(1) 広報活動

メールマガジン「RACNEWS」を随時回発行。『NEWSLETTER』を年1回発行する。ホームページを随時更新する。その他、役員が中心となり各地域で普及活動を展開し、会員の拡大、指導者の登録及び更新率の向上を図る。

(2) 川の指導者の道具、教材の販売及び貸出促進事業

RACオリジナルグッズを普及し、より安全な水辺の体験活動の普及を行う。

6．その他

(1) 講習会関係

- ・講師派遣、CONE等指導者登録に関する業務を行う。